

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第90号 令和5(2023)年6月12日発行



教育相談特別講座のお知らせ

＜テーマ＞ 「支える生徒指導」で子どもは動き出す

～子どもの主体性を引き出す教師の「きく」力～

基調講演

「子どもの主体性を育むための教師の『きく』力」

講師 立正大学心理学部 教授 鹿嶋 真弓 氏

シンポジウム

「『きく』を意識した指導・支援の実際」

- 期 日 令和5(2023)年8月10日(木) 9:00～12:05
- 会 場 オンライン(Zoom)による開催
- 募集定員 200名(先着順)
(小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校教職員及び教育関係者)
- 申 込 み 栃木県総合教育センターWebサイトより、参加者1名につき、1台の端末でお申し込みください。
- 申 込 先 栃木県総合教育センターWebサイトトップページのバナーのリンク先にある専用Webサイト
https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/kensyu/kensyu2023/tokubetsu_koza.htm
- 締 切 り 令和5(2023)年7月31日(月)



【問合せ先】教育相談部 (Tel 028-665-7211)

校内研修サポートについて

夏休み等の研修にいかがでしょうか

教育相談部では、校内研修へのサポートを下記のようなテーマで行っています。

日時、テーマ、実施時間など、学校の要望に応じて実施することも可能です。受付は随時行っています。お気軽に御相談ください。

No	テーマ	目安時間	主な内容
1	いじめの理解と対応	50～90分	いじめ防止対策推進法に基づきいじめの認知、いじめの早期発見、早期対応、いじめの未然防止、組織的な対応等について考えます。
2	不登校の理解と対応	50～90分	不登校の考え方、不登校の初期対応、不登校の未然防止、登校支援、組織的な対応等について考えます。
3	通常の学級における特別支援教育	50～90分	通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について学びます。
4	Q-Uの活用	50～120分	Q-Uの各シートの見方と活用のポイントについて学びます。 ※Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。
5	自立活動の指導の在り方	50～90分	自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や具体的な指導内容を設定するためのポイント等について考えます。 ※自立活動に関する授業研究会に参加することも可能です。
6	事例検討	60～90分	児童生徒への指導・支援の方針や具体策を考えます。
7	その他		※上記の内容以外にも、カウンセリングマインドやアサーショントレーニング等、学校の要望に応じて実施することも可能です。

【問合せ先】教育相談部 (Tel 028-665-7211)

教職員サマーセミナーのお知らせ

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深めるとともに、教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

1 講座案内

宇都宮大学教職センターWeb サイト <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte3.php>

栃木県総合教育センターWeb サイト <https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>



2 申し込み方法

宇都宮大学教職センターWeb サイトからお申し込みください。

締切り 令和5（2023）年7月18日（火）

3 その他

- ① 宇都宮大学及び栃木県総合教育センターから旅費の支給はありません。また、受講する講座によっては、教材費がかかる場合もあります。
- ② このセミナーは、「教職5年目研修」「中堅教諭等資質向上研修」「中堅養護教諭資質向上研修」「栄養教職員20年目研修」における選択研修の対象になっています。
- ③ 定員を超えた場合は、先着順とします。
- ④ 会場となる宇都宮大学峰キャンパス・共同教育学部附属特別支援学校には、自家用車で入構できます。アクセス及び構内案内については、宇都宮大学教職センターWeb サイトで確認してください。
- ⑤ 新型コロナウイルスの感染状況により中止や変更となる場合があります。

4 問 合 せ 宇都宮大学教職センター 地域連携部門 TEL 028-649-5272

5 講座一覧

番号	実施日	講座名	分野	講師	定員	対象校種
1	7/24(月)	三島由紀夫『近代能楽集』を読む	国 語	守安 敏久	11	小・中・高
2	7/28(金)	家庭科教育と未来の生活	家 政	赤塚 朋子	50	小・中・高・特
3	7/31(月)	子どもの運動能力・体力向上を目指した運動学習の理論と実践	保健体育	加藤 謙一 松浦 佑希	20	小・中・高・特
4	8/1(火)	教師も楽しむ理科実験	理 科	南 伸昌	20	小・中・高・特
5	8/1(火)	「特別の教科 道徳」の授業デザイン	教職大学院 教 育	和井内良樹 上原 秀一	30	小・中・高・特
6	8/1(火)	数学的に考える力を育てる授業づくり：子どもの考えに着目して	数 学 教職大学院	日野 圭子	20	小・中(数学科)
7	8/2(水)	言語活動を軸にした教育内容・方法論	教職大学院	青柳 宏	10	小・中・高・特
8	8/3(木)	英語文学と日英語比較の知見を活かした英語の授業づくり	英 語	五十嵐奈央 岩崎 宏之	20	小・中・高・特
9	8/4(金)	教育改革に関する答申や法令などの最新動向－学校改善へのヒントと課題を考える－	教職大学院	小野瀬善行	20	小・中・高・特
10	8/4(金)	特別支援教育におけるICT活用	特別支援教育	齋藤 大地	16	小・中・高・特
11	8/7(月)	障がいの重い子どもと係わり合う教育－実践事例から読みとく特別支援教育－	特別支援教育 教職大学院	岡澤 慎一	50	小・中・高・特
12	8/7(月)	プログラミング教育の基礎・基本	技 術	川島 芳昭 松原 真理	25	小・中
13	8/8(火)	ICTを活用して地球を探究する	理 科	瀧本 家康	11	中(理科・社会科)
14	8/8(火)	鍵盤ハーモニカを演奏してみよう	音 楽	新井 恵美	20	小・中・高・特
15	8/9(水)	心理療法の観点を活かした子どもへの対応改善	教育心理	川原 誠司	20	小・中・高・特
16	8/10(木)	失敗しない生物実験	理 科	井口 智文	10	小・中・高・特
17	8/10(木)	鉛筆で描く	美 術	株田 昌彦	15	小・中・高・特
18	8/21(月)	人気者はみんなに好かれているのか～人気者とスクールカースト～	社 会	小原 一馬	50	小・中・高
19	8/21(月)	幼児・児童・生徒ひとりひとりの手持ちの力を尊重し育むための教育を考えてみよう	特別支援教育	石川由美子 齋藤 大地 福田 奏子	20	小・中・高・特
20	8/23(水)	ICTを活用した物理実験を体験しよう	理 科	瀧本 家康 夏目ゆうの	11	中・高(理科)

【問合せ先】 研修部 (TEL 028-665-7202)

先生方の情報活用を支援します！

センターWeb サイト上に設置した「**とちぎ教育ICTポータルサイト**」では、ICT活用に関する困りごとを解決する方法や新しい情報など、今求められているものを随時配信しています。ぜひ、御活用ください。(下記は**4月に配布したリーフレット**の抜粋です。トライしてみてください。)

著作権や情報モラルなどについて、正しく理解していますか？

※○か×で答えてみましょう

1. () 児童生徒が授業中に書いた作文にも著作権がある
2. () 夏目漱石(1916年没)の小説を全文コピーして児童生徒に配布してもよい
3. () 自分のWebサイトのBGMとして、自分で購入したCDの音楽を流してもよい
4. () 授業で利用するなら、自分が購入した問題集をコピーして、児童生徒に配布してもよい
5. () フリー画像なら、どんなものでもプリントの挿絵に使い、ネット上に公開してもよい
6. () 学校のタブレットで撮影した運動会の写真を、許可なくネット上に掲載してもよい
7. () ゲーム依存症は、病気と認定されている
8. () ネット上の情報が正しいかは、二つのWebサイトを確認すればよい

セキュリティ診断

※あてはまるものに☑を付けてみましょう

- ☐ 1. 机上に成績や個人情報掲載した印刷物を置いたままにしていない
- ☐ 2. 許可なく児童生徒の情報を持ち出していない
- ☐ 3. 仕事に関係のないWebサイトを閲覧していない
- ☐ 4. メールに書かれたURLを安易にクリックしていない
- ☐ 5. 校務用のパソコンに不要なソフトを入れていない
- ☐ 6. 短時間の離席でも画面ロック等をしている
- ☐ 7. 初期パスワードをそのまま利用していない
- ☐ 8. 仕事用とプライベート用のパスワードを分けている

【☑の数による診断の目安】

- 8～7個:**素晴らしい、引き続きみんなのお手本に！
- 6～5個:**あと少しで完璧です、より高い意識をもちましょう！
- 4～0個:**解説を確認して意識を高めましょう！



←上記の解答と詳しい解説はこちら。ぜひ、御確認ください。

←「とちぎ教育ICTポータルサイト」はこちら

【問合せ先】研究調査部 (TEL 028-665-7204)

先生方の授業改善を支援します！

総合教育センターでは、各学校が実施する教職員の研修会や授業研究会などに講師を派遣し、授業改善の取組をサポートしております。お気軽に御相談下さい。

【授業改善に関する校内研修メニュー】

○各教科等の授業研究会

各学校の学校課題に合わせて各教科等の授業研究会をサポートします。授業参観や研究会を通して、授業づくりや授業改善について先生方と一緒に検討します。指導案検討の段階からの支援など、相談内容に応じた対応も可能です。

○「目標・指導・評価」を意識した授業改善

「目標・指導・評価」を一体的に捉えた授業づくりをサポートします。目標に即した評価規準の作成や評価の方法などについても、先生方と一緒に具体的に考え、児童生徒の資質・能力の育成を図る授業づくりについて理解を深められるよう支援します。



校内研修メニューはこちら →

【授業改善に関する資料 NEW】



R4年度調査研究の成果として、「**単元の見通しとICT活用**」に焦点を当てた小・中学校段階向けの資料、「**学習評価**」に焦点を当てた高等学校向けの資料を作成しました。センターWeb サイトからダウンロードして御活用ください。



調査研究のページはこちら →

【問合せ先】研究調査部 (TEL 028-665-7204)

保護者の学びや育ちの場を企画しましょう！

皆さんの学校では、保護者同士が子育てについて学び合う機会は設けられていますか。

栃木県教育委員会では、家庭の教育力の向上を図るとともに、社会全体で子どもを育む環境づくりが進むことを目指し、「親学習プログラム」を活用した学習機会の充実に取り組んでいます。就学時健康診断時をはじめ、学校での保護者会、家庭教育学級、PTA研修会等、様々な機会を活用できる参加型の学習プログラムです。

「親学習プログラム」とは

- ・保護者同士が身近なエピソードやワークを通して話し合いながら、子育てに必要な知識やスキルを主体的に学ぶ、参加型の学習プログラムです。栃木県教育委員会が作成しました。
- ・30～120分のプログラムを用意しており、参加者の状況や人数、使用する場面や時間、場所などに応じて展開の仕方を自由に工夫できます。



☆思春期版家庭教育支援プログラム☆

思春期の子どもは心身ともに不安定になりやすい時期です。

思春期の子どもをもつ保護者の家庭教育支援を充実させるため、栃木県教育委員会は「思春期版家庭教育支援プログラム」を作成し、中学校、高等学校、特別支援学校等で活用を促進しています。

<プログラム活用の魅力と効果は？>

○保護者にとって

保護者同士が交流
できます。

悩みや不安が小さ
くなり、気持ちが
楽になります。

子どもの理解につ
ながります。

自分自身の子育て
を振り返ることが
できます。

○学校にとって

保護者懇談などを
進めやすくなりま
す。

保護者と学校の距
離が縮まります。

PTA行事の参加
率が上がります。

保護者の様々な考
えを理解すること
ができます。

本プログラムの実施に当たっては、内容の確認やファシリテーターの派遣に至る手続きに時間を要するため、1か月くらい前までに御相談いただきますよう、お願いします。配布資料の準備や当日の進行は、こちらで行います。また、費用は一切かかりません。右記の二次元コードからリーフレット「学校で保護者対象の学びを企画する方へ！～『親学習プログラム』をやってみませんか？～」をダウンロードすることができますので、ぜひ御覧になってください。



【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）